

平成 30 年 5 月 15 日

## 平成 30 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎  
東京法律専門学校杉並校  
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「平成 29 年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

### 1. 平成 30 年度学校関係者評価委員会

< 委員 > (五十音順)

石井 千代枝 氏 社会保険労務士法人有賀事務所  
浦口 剛 氏 立志舎高等学校 教頭  
野澤 政伸 氏 榘實法律事務所 弁護士  
蓮沼 大介 氏 川口市教育委員会 生涯学習部教育総務課 主事補  
若井 寛 氏 防衛省 自衛隊 東京地方協力本部 高円寺募集案内所 所長

< 事務局 >

根本 周太郎 校長  
坂口 賢一 副校長

### 2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準 1 教育理念・目標	<p><b>イ．理念、目的、育成人材像は定められているか</b></p> <p>学校の目標を、「学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、法律および文化教養に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。」としている。さらに専門分野の特性が明確になるように学科ごとに目標も定め、ホームページで広く公表している。また、学園の基本目標を「学生から信頼され支持される学校づくり」として、教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p><b>ロ．学校における職業教育の特色は何か</b></p> <p>本学独自の教育システムである「ゼミ学習」である。「ゼミ学習」によって、各学科の目標とする国家試験や検定試験、公務員採用試験等に高い合格実績をあげることができている。</p> <p><b>ハ．理念、目的、育成人材像、特色などが学生、保護者等に周知されているか</b></p> <p>ホームページへの掲載や受付掲示、オープンキャンパスでの説明など、学生・保護者等に周知されている。</p> <p><b>ニ．各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</b></p>

	<p>「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入したことにより、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、公務員採用試験合格実績、民間企業就職実績が両立している。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) ゼミ学習は、学生同士で教えあったり意見を出し合ったりすることでコミュニケーションをとることができ、友人もできるので良いと思う。</p> <p>(2) さらに一歩進んで職業教育を考えていくと、社会でどのように活躍していきたいのかといったゴールを見据えた、ゼミ学習を行えばもっと良いものになると思う。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p><b>イ．目的等に沿った運営方針が策定されているか</b></p> <p>本学では「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としており、理事長講話で繰り返し教職員に伝えている。学園の基本目標は、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示している。</p> <p><b>ロ．運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</b></p> <p>運営組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p><b>ハ．人事、給与に関する制度は整備されているか</b></p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度については、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されている。人事考課制度については、その概要を定めた文書がなかったため、昨年度整備した。</p> <p><b>ニ．教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</b></p> <p>日常的な意思決定は、管理職がしている。学校間の調整は企画本部または学園協議会で行っている。理事会、学園協議会、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されているといえる。</p> <p><b>ホ．教育活動に関する情報公開が適切になされているか</b></p> <p>資格取得実績や就職実績をホームページで公開し、速報を作成してオープンキャンパス等で入学希望者に配布している。さらに本人了承のもと氏名や出身高校を記載した合格速報なども配布しており、入学者へのアンケートを見ると、志望者や保護者が判断する際にも役立っている。</p> <p><b>ヘ．情報システム化等による業務の効率化が図られているか</b></p> <p>情報システムについては、学務システムと経理システムを個々に運用しており、就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワークを全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p>

	<p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>学園の基本目標が教職員・学生に周知されていて良いと思う。学生が学校を支持する為には、教職員も今以上に学園を誇りに思うことが必要だと思う。その為には教職員の働き方改革が必要である。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p><b>イ．教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</b></p> <p>カリキュラムは、教育課程編成委員会での外部委員の意見を踏まえてカリキュラム作成委員会での定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習で行っており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も涵養している。</p> <p><b>ロ．教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</b></p> <p>各学科の目標を明確にし、官公庁説明会および学内就職セミナーで、官公庁および企業から回収したアンケート回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、公務員を含め多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。各学科とも修業年限で「社会が求める人材像」のレベルまで達するようにしている。</p> <p><b>ハ．学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</b></p> <p>カリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。</p> <p><b>ニ．キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</b></p> <p>専門知識以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するため、該当する授業科目を設置し、また官公庁および企業の人事担当者による官公庁説明会および学内就職セミナーも実施している。</p> <p>平成26年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、本学2年制学科はすべて職業実践専門課程の認定を受け、企業等と連携した実践的な演習を各学科で行っているが、社会の人材ニーズや指導方法などの検証は継続していく必要があると考えている。</p> <p><b>ホ．授業評価の実施・評価体制はあるか</b></p> <p>授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施するとともに、教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。</p> <p><b>ヘ．成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</b></p> <p>学則・学生便覧に単位認定試験を行い、成績付与を行うことを明示しており、成績評価・単位認定の基準を明確にしている。平成30年度の専門課程便覧には成績評価・単位認定の基準をより明確に定めた。</p> <p><b>ト．資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</b></p>

	<p>各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。各学科で各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成においても目標達成のため科目の適正な配置を行っている。</p> <p><b>チ．人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</b></p> <p>育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。</p> <p><b>リ．職員の能力開発のための研修等が行われているか</b></p> <p>教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。</p> <p>&lt;ここで 29 年度に実施した専門分野における実務に関する研修を紹介した。&gt;</p> <p>基準 3 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見及び質問があった。</p> <p>(1) 職員の学生指導力を高めるために、外部講師を招いて研修を実施することは大切だと思う。</p> <p>(2) 資格取得の指導体制は、取得目的も明確になっていて、資格試験合格に対する情報の分析を今まで通り行って、学生に提供してほしい。</p> <p>(3) 公務員の試験対策は幅広い知識が必要となるため、自己啓発等を行った方が良いと思うが、そのようなものは実施されているか。</p> <p>【回答】 実施しています。</p>
<p>基準 4 学修成果</p>	<p>&lt;まず、各学科より就職実績及び資格取得実績の報告があった。&gt;</p> <p><b>イ．就職率の向上が図られているか</b></p> <p><b>ロ．資格取得率の向上が図られているか</b></p> <p>入学直後の新入生就職セミナーをはじめ進路決定ガイダンス、就職出陣式、官公庁説明会や学内就職セミナーを行っていることにより、就職率・資格取得率とも向上が図られている。</p> <p><b>ハ．退学率の低減が図られているか</b></p> <p>一人も退学者を出すことなく入学者全員を卒業させることが最終目標であるため、担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っている。無断欠席者には担任が電話連絡して欠席が長期にならないようにしている。担任以外にも相談できるように学生相談室を設置しており、匿名でも、電話でも相談できるようにしている。</p> <p>この基準 4 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見及び質問があった。</p> <p>(1) 法律学科(2 年制)公務員上級・中級コースは、上級試験を受けた学生の割合と合格率を掲載することができれば良いと思う。</p>

	<p>(2) 法律ビジネス学科公務員初級コースは、就職した学生で、第一希望の就職先に就職ができた割合などを掲載することができれば、他校との差別化を図ることができる。</p> <p>杉並校の公務員上中級コースの就職希望者に対する就職者の割合が100%なのに対し、公務員初級コースでは94.7%となっている原因などがあればそこを改善していくことで、公務員初級コースの就職率も上がってくるのではないかと思います。</p> <p>(3) 法律社会学科(2年制)は、就職した学生で、第一希望の就職先に就職ができた割合などを掲載することができれば、他校との差別化を図ることができる。</p> <p>漢字検定の合格率が低いことは、何か原因となることがあるか。</p> <p>【回答】公務員初級コースと同じ時期から同じ教材で対策を開始していますが、今回のような結果になりました。今回の結果を踏まえ合格率を上げる対策を行っていきます。</p> <p>(4) 行政学科(1年制)公務員初級コースは、どの程度の学生が公務員になれたのかを掲載すると、入学する際の選択する情報になると思う。</p> <p>公務員初級コース(1年制)と警察官・消防官・自衛官コース(1年制)が1つになっているので、情報公開する際それぞれのコースの在籍人数を掲載した方が良いのではないかと。</p> <p>(5) 法律社会学科(1年制)警察官・消防官・自衛官コースに関して、入学する際、1年制と2年制どちらの方が有利なのか。</p> <p>【回答】合格率に有利・不利はないが、2年制であれば中級以上の試験にもチャレンジできるため、2年制を選ぶ生徒の方が多いです。</p> <p>(6) 親元を離れ、一人暮らしをしている学生もいると思われるので担任以外にも相談できる、学生相談室のような場所があるのは大変良い。そのような場所で、学生の心のケアも行ってもらえたらと思う。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p><b>イ．進路・就職に関する支援体制は整備されているか</b></p> <p>公務員希望者には、クラス担任が公務員採用試験の出願から受験までの相談、指導を行っており、官公庁の人事担当者を招き官公庁説明会を実施している。民間就職希望者には、就職相談室を設け、就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。</p> <p><b>ロ．学生相談に関する体制は整備されているか</b></p> <p>学生は、いろいろな悩みを持っており、それらの相談はまずクラス担任にするのが、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談している。</p> <p><b>ハ．学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</b></p> <p>支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度を設けており、奨学金はすべて貸与ではなく給付としている。</p> <p><b>ニ．学生の健康管理を担う組織体制はあるか</b></p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が</p>

	<p>学生の健康相談などに応じている。</p> <p><b>ホ．課外活動に対する支援体制は整備されているか</b></p> <p>野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部などのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動が盛んであり、学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p><b>ヘ．学生の生活環境への支援は行われているか</b></p> <p>遠隔地出身者のための学生寮などの学生に対する生活環境支援は必要であるため、学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p> <p><b>ト．保護者と適切に連携しているか</b></p> <p>学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者と面談をしている。</p> <p><b>チ．高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</b></p> <p>本学では「高校生の就職を応援します」と銘打ち、無料で高校生の公務員採用試験受験指導を開催し、多くの高校生に参加してもらっている。また、高校への派遣授業や面接指導など高校の先生からの依頼で、可能な限り高校に赴き無料で指導をおこなっている。</p> <p>この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見及び質問があった。</p> <p>(1) 進路の相談等を担任の先生に支援してもらえる体制はこれからも続けてほしい。一つの提案として卒業生が在学生の進路の相談に応じるような機会を設けていただくと面白いと思う。</p> <p>(2) 奨学生の制度は誰でも利用することができるのか。また、何名程度利用することができるのか。</p> <p>【回答】 誰でも希望すれば利用することができる。また、奨学生の制度によっては試験によるものもあり、それによって人数は変わってくる。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p><b>イ．施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</b></p> <p>設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っているため、施設・設備は学生に教育上支障がないように整備されている。</p> <p><b>ロ．防災に対する体制は整備されているか</b></p> <p>防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>災害等で何が起るかわからない状況を考え、防災に対する意識を高めることは</p>

	必要だと思う。
基準 7 学生の受け入れ募集	<p><b>イ．学生募集活動は適正に行われているか</b></p> <p><b>ロ．学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</b></p> <p>公務員採用試験合格において、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せており、志望者や保護者の方の判断にも役立つと思われる。入学者に対するアンケートを行い、卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。</p> <p><b>ハ．学納金は妥当なものとなっているか</b></p> <p>学納金に関しては学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されています。</p> <p>この基準 7 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>学生の受け入れ募集の際に情報公開を行う場合、引き続き情報管理を徹底してほしい。</p>
基準 8 財務	<p><b>イ．中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</b></p> <p><b>ロ．予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</b></p> <p><b>ハ．財務について会計監査が適正に行われているか</b></p> <p><b>ニ．財務情報公開の体制整備はできているか</b></p> <p>財務全般についてですが、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められている。予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事 2 名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第 47 条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>この基準 8 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>少子化のなか財政的に安定させるのは難しいと思うが、母校がなくなってしまうのは悲しいことなので、頑張してほしい。</p>
基準 9 法令等の遵守	<p><b>イ．法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</b></p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標に、教職員には毎年人権研修の受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等に派遣したり、資料を配布したりするなど、法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し施行している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。また毎年、東京都人権啓発センターより講師を招いて人権研修を実施している。</p>

	<p><b>ロ．個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</b></p> <p>個人情報保護に関しては、個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定している。学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、個人情報保護に関する内容を文書化している。また、本学では信ぴょう性を確保する目的で、学生の了解を得られる場合においては、公務員採用試験、国家試験等の合格情報や就職実績の情報を氏名や出身校名を出して掲載している。この場合においては、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p><b>ハ．自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</b></p> <p><b>ニ．自己評価結果を公開しているか</b></p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果については学校関係者評価委員会で報告し評価をいただき、ホームページに公開している。</p> <p>この基準 9 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見及び質問があった。</p> <p>(1) 人権研修を行っているとのことだが、どのような内容か。 【回答】 具体的な事例を用いて、ご講演いただいている。</p> <p>(2) 法令等の遵守も大事なことだが、法令違反が起こらないように未然に防ぐシステムがあれば、なお良いと思う。</p> <p>(3) 個人情報に関する取扱いの研修を実施するとよい。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p><b>イ．学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</b></p> <p><b>ロ．学生ボランティア活動を奨励、支援しているか</b></p> <p><b>ハ．地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</b></p> <p>社会貢献・地域貢献全般についてだが、学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の道路清掃をしており、その清掃活動は近隣からもとても好評である。各校とも、地域の状況に応じて、社会貢献・地域貢献ができていると思う。</p> <p>この基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>社会貢献としてボランティアを行う場合、教職員が中心となって行うこともできるが、学生たちの中でボランティアを行っていける組織のようなものがあればいいと思う。</p>